

6月の安全衛生歳時記

2024年6月の安全衛生カレンダー

1日~8日

4月 1日~6月 30日◎不正大麻・けし撲滅運動 (厚生労働省)

5月 1日~9月 30日◎STOP! 熱中症クールワークキャンペーン (厚生労働省)

5月 20日~6月 30日◎山地災害防止キャンペーン (林野庁)

5月 30日~6月 30日◎海洋環境保全推進月間 (5月30日 [ごみゼロの日] から6月の一カ月、海上保安庁)

6月 1日~30日 ◎全国安全週間準備期間 (厚生労働省、中央労働災害防止協会) ◎環境月間 (環境省)

◎STOP! 転倒災害プロジェクト「重点取組期間」(厚生労働省、中央労働災害防止協会ほか)

◎土砂災害防止月間 (国土交通省) ◎リウマチ月間 (厚生労働省) ◎食育月間 (農林水産省、内閣府)

◎男女雇用機会均等月間 (厚生労働省) ◎全国設備管理強調月間 (日本プラントメンテナンス協会)

◎外国人労働者問題啓発月間 (厚生労働省)

6月 1日~8月 31日◎農業危害防止運動 (農林水産省)

6月 1日~9月 30日◎夏の省エネキャンペーン (経済産業省)

1日(土)◎がけ崩れ防災週間(~7日、国土交通省)

○水道週間(~7日、厚生労働省、日本水道協会)

・省エネルギーの日(毎月1日)

・気象記念日 1875(明治8)年、気象庁の全身・東京気象台が気象業務を開始

・道路交通法改正 若葉マーク誕生 1972(昭和47) ・男女雇用機会均等法公布 1985(昭和60)

・消防法改正、家庭用火災警報器設置が義務に 2006(平成18) ・衣替え

★自動運転車両が始発駅発車時に逆送して車止めに激突、17人重軽傷 横浜・磯子 2019(令和元)

2日(日)◎危険物安全週間(~8日 [原則として6月第2週の日~土]、消防庁)

★ブレーキ故障の列車が車止を越えて駅ビルに突入、1人死亡、158人負傷 茨城・取手 1992(平成4)

★民家火災で消防士3人死亡、逃げ遅れた人を搬出する際2階部分が崩落 兵庫・神戸 2003(平成15)

★知的障害者施設で火災、3人死亡、1人負傷 神奈川・綾瀬 2008(平成20)

★ホテルで修学旅行中の教員、小学生らCO中毒、同行のカメラマン死亡、ボイラーの排気管不良 山口・美祢 2009(平成21)

3日(月)・測量の日(国土交通省・国土地理院)、測量法公布40周年の1989(平成1)年に制定

★雲仙普賢岳火砕流事故 大火砕流が発生して消防団員ら43人が死亡・不明、建物被害179棟 長崎・島原 1991(平成3)

★マンションのエレベーターに挟まれて死亡、箱から出ようとした際扉が開いたまま上昇 東京・港区 2006(平成18)

4日(火)◎ねずみ・衛生害虫駆除推進月間(~7月4日、ムシナン)

○歯と口の健康週間(~10日、厚生労働省・日本歯科医師会)

★メッキ工場で部品洗浄機修理中、有機溶剤中毒で2人死亡 福島・矢祭町 2003(平成15)

★水産研究施設で貯水槽清掃中、硫化水素中毒で1人死亡、1人重体 北海道・網走 2004(平成16)

★発電設備建設現場で組立中の排気ダクトの鉄板倒れ下敷き、2人死亡、1人重傷 京都・舞鶴 2009(平成21)

★水産加工工場でフォークリフトの排ガスで女性13人CO中毒、ホタテの殻むき作業中 北海道・別海 2011(平成23)

★橋建設中、架設桁の台座がはじき出され作業員転落、1人死亡、3人重軽傷 北海道・木古内 2015(平成27)

5日(水)・環境の日(環境省) ・世界環境デー(国連)

★黒部川第四発電所完成、1956(昭和31)年着工からの犠牲者171名 富山 1963(昭和38)

★塗装工場の金属製品吹付け・乾燥作業場で爆発・火災、2人死亡、500㎡焼損 大阪・八尾 2003(平成15)

★医療用ゴム製品を洗浄する試運転中の鉄釜が爆発、13人重軽傷 静岡・掛川 2008(平成20)

6日(木)★特別養護老人ホームから出火、450㎡を焼失、寝たきり老人ら17人焼死 東京・東村山 1987(昭和62)

★製紙工場の段ボール原料タンクに転落して1人死亡、1人重体 硫化水素中毒 愛媛・四国中央 2005(平成17)

★製紙工場、古紙溶解タンク内に入った1人が倒れ、救助の2人と計3人死亡 石川・白山 2018(平成30)

7日(金)・土木学会、南海トラフ巨大地震の経済的被害1410兆円(推計)を発表 2018(平成30)

8日(土)★製油所の特定屋外タンク貯蔵所の開放検査中、浮き屋根が崩落し作業員1人死亡 千葉・市原 2000(平成12)

★小学校に男が乱入、児童8人を刺殺、教員を含む15人重軽傷 大阪・池田 2001(平成13)

★化学工場のフッ化水素タンクが爆発、1人死亡、3人重軽傷 パイプ修理中溶接火花引火 秋田・秋田 2004(平成16)

★秋葉原で無差別殺人、7人死亡、10人重軽傷 トラックで横断をはね、通行人をナイフで刺殺 東京・台東 2008(平成20)

6月の安全衛生歳時記

24年6月号-23

9日~19日

- 9日(日)・ロックウールの日(日本ロックウール工業会)
・ロックの日(しっかりカギかけて防犯)
★造船所で修理中の船で火災、作業員2人煙に巻かれて死亡 長崎・平戸 2020(令和2)
- 10日(月)○火薬類危害予防週間(～16日、経済産業省)
・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
・大気汚染防止法、騒音規制法公布 1968(昭和43)
・振動規制法制定 1976(昭和51)
★本四連絡来島海峡大橋で、橋桁と作業台が落下して7人死亡 愛媛・今治 1998(平成10)
★化学工場でのトリチウム再蒸留塔が爆発、被害は1.5kmに及び4人死亡、58人負傷 群馬・尾島 2000(平成12)
★地下污水处理タンクでポンプ点検中、硫化水素中毒で4人死亡 福岡・久留米 2002(平成14)
- 11日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)
・「労働関係法」成立、男女雇用機会均等法の強化、労働基準法の子保護規定撤廃が骨子に 1997(平成9)
★化学プラントで移液中のプロピレンタンクが爆発 18人死亡、117人負傷 神奈川・川崎 1964(昭和39)
★機械を吊上げたクレーンが天井のレールから落下、1人死亡、2人重軽傷 大分・大分 2003(平成15)
★旅館の温泉水タンク清掃作業中、硫化水素中毒で2人死亡 長崎・雲仙 2013(平成25)
- 12日(水)★宮城沖地震 M7.4、28人死亡、1,325人負傷、新興開発地に被害集中、耐震基準強化に 1978(昭和53)
- 13日(木)・小惑星イトカワへ着陸した探査機「はやブサ」が7年ぶりに地球に帰還 2010(平成22)
★福岡空港でインドネシア機が離陸に失敗し炎上 3人死亡、113人負傷 福岡・福岡 1996(平成8)
★接岸中の鉱石運搬船内で、酸欠で3人死亡 荷降ろしに向かった1人と救助の2人大分・大分 2009(平成21)
★会議場のホール天井裏で照明の点検をしていた作業員が17m下に転落、死亡 広島・広島 2022(令和4)
★止めていた機械が動き出し、食品トレーのプレス加工機に頭を挟まれて作業員死亡 兵庫・丹波 2022(令和4)
- 14日(金)・世界献血デー(国際赤十字・赤新月社連盟ほか)
★デパートの地下変電室のトランスから出火、警備員ら3人死亡 千葉・船橋 1986(昭和61)
★岩手・宮城内陸地震(M7.2)死者不明23人、土砂崩れ、落石、河道閉塞等多数 2008(平成20)
★エレベーター内塗装作業中、剥離剤による中毒で2人死亡 埼玉・さいたま 2014(平成26)
★大型トラックの解体作業中、トラックの下敷きになり作業員が死亡 千葉・千葉 2022(令和4)
★化学工場で配管切断作業中に配管が爆発 作業をしていた作業員1人死亡、2人が負傷 新潟・糸魚川 2023(令和5)
- 15日(土)・少年を非行から守る日(毎月第3土曜、警視庁、各道府県警察)
★明治三陸地震津波、日本海溝震源の大地震で三陸地方に最大38mの津波、死者・不明2万人以上 1896(明治29)
★塩ビ製造工場で塩酸蒸留塔点検中、漏れた塩酸をかぶり2人死亡、6人重軽傷 千葉・市原 2010(平成22)
- 16日(日)・父の日(6月第3日曜)
★新潟地震 1964(昭和39)年、新潟市を中心にM7.5の地震が発生、液状化現象被害や重油タンクの火災などが問題に、死者・不明26人
★製油所で製油装置の配管点検中ガスが噴出、3人転落して重軽傷 宮城・仙台 2004(平成16)
★ホテルで食中毒が発生し、修学旅行生など79人を病院搬送 京都・京都 2018(平成30)
- 17日(月)・巨大災害の発生に対応する「大規模災害復興法」、「改正災害対策基本法」が成立 2013(平成25)
★北海道駒ヶ岳大噴火 火砕流や噴石、火山ガスによる被害大、2人死亡、4人負傷、家屋約2,000棟が損壊・焼失 1929(昭和4)
★化学工場の香料製造反応缶が爆発、6人死亡、7人負傷 広島・府中 1980(昭和55)
- 18日(火)・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)
・考古学出発の日 1877(明治10)年、大森貝塚を発見したモース博士が来日
・海外移住の日 1908(明治41)年のこの日、日本から本格的な海外移住第1陣781人が笠戸丸でブラジル・サントス港に上陸
★火力発電所でボイラ空気予熱器の定期点検中煙道が爆発、2人死亡、1人負傷 千葉・姉ヶ崎 1996(平成8)
★大阪府北部でM6.1の地震 2人が崩れたブロック塀の下敷きなどで計6人が死亡、400人以上負傷 2018(平成30)
- 19日(水)・食育の日(毎月19日、内閣府)
・理化学研究所創設の日 1917(大正6)年、理化学研究所(理研)が東京都文京区に設立
★デラ台風上陸、各地に被害、死者不明400人以上 1949(昭和24)
★製鉄所で定期点検中ガス漏れ、CO中毒で1人死亡、5人重軽傷 北海道・室蘭 2004(平成16)
★温泉施設の汲上げ設備で天然ガスが爆発、女性従業員3人死亡、通行人ら8人負傷 東京・渋谷 2007(平成19)
★埠頭に停泊中の貨物船でクレーンの荷が落下、1人死亡、1人重傷 神奈川・横浜 2020(令和2)
★合板製造全焼会社で火災、鉄骨2階建工場全焼 マンテナンス外部業者2人が熱傷で搬送 鳥取・境港 2022(令和4)

6月の安全衛生歳時記

20日~30日

- 20日(木)◎薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(～7月19日、厚生労働省)
- ・マイカーチェックデー(毎月20日)
 - ・世界難民の日(国連)
 - ・東北・上越新幹線が上野から東京まで延伸 1991(平成3)
 - ★織物工場で火災、工場3棟、事務所焼失 ベトナム人女性技能実習生含む4人死亡、4人負傷 福井・永平寺 2019(令和元)
 - ★古紙リサイクル業の倉庫で作業員が古紙の塊の(約1t)の下敷きになり死亡 新潟・長岡 2022(令和4)
- 21日(金)・夏至
- ・ユネスコが富岡製糸場と絹産業遺産群(群馬県)の世界遺産登録を決定 2014(平成26)
 - ★LPガス管交換工事現場で爆発、4人重軽傷 岩手・一関 2004(平成16)
 - ★古井戸清掃作業中、硫化水素中毒で2人死亡 香川・高松 2007(平成19)
 - ★地滑り対策工事現場で高圧洗浄機の排ガスでCO中毒、2人死亡、1人重体 長野・大鹿 2010(平成22)
 - ★台風6号が四国から近畿地方を縦断 全国で死者不明5人、負傷116人、家屋損壊200棟以上 2004(平成16)
- 22日(土)・製造物責任法(PL法)成立 翌年7月1日施行 1994(平成6)
- ・骨髄バンクが患者登録を開始 1992(平成4)
 - ・ユネスコが富士山を三保松原を含めて世界文化遺産に登録決定 2013(平成25)
 - ★梅雨前線豪雨～7月4日、西日本中心に強い雨が降り続き土砂崩れ、浸水被害により死者不明40人 1999(平成11)
 - ★製鉄所のガス貯蔵タンクのパイプからCO含む水蒸気漏れ、塗装作業員3人CO中毒 茨城・鹿島 2008(平成20)
 - ★砂利採掘場で油圧ショベルが水溜まりで横転、運転者が死亡 青森・六ヶ所 2022(令和4)
- 23日(日)○男女共同参画週間(～29日、内閣府)
- ・「男女共同参画社会基本法」施行 1999(平成11)
 - ・沖縄慰霊の日 太平洋戦争における沖縄戦の組織的戦闘が終結、住民を含め20万人以上が犠牲 1945(昭和20)
 - ・東北新幹線(大宮～盛岡)が開業 1982(昭和57)
 - ★造船所でドック入りの貨物船の機関室で消火装置のCO2噴出、酸欠で6人死亡 大阪・堺 1985(昭和60)
 - ★新島から山梨県に向けて飛行中の小型航空機が墜落、搭乗の3人死亡 2002(平成14)
 - ★東名高速で多重玉突き事故、6台が炎上して4人死亡、13人重軽傷 愛知・新城 2003(平成15)
- 24日(月)★肥料工場で合成塔からアンモニア合成用の高圧ガスが噴出・爆発、17人死亡 神奈川・川崎 1949(昭和24)
- ★阿蘇山大噴火 多量の噴石、降灰により建物に被害、登山者ら12人死亡、28人負傷 1958(昭和33)
 - ★梅雨前線豪雨～7月5日、中部地方を中心に大被害、死者不明357人 1961(昭和36)
- 25日(火)・道路交通法公布 1960(昭和35)、それまでの道路交通取締法廃止
- ★北九州豪雨 停滞した梅雨前線で豪雨・水害、関門トンネルも浸水、死者不明1,013人 1953(昭和28)
- 26日(水)・国際薬物乱用・不正取引防止デー(国連)
- ・硫黄島、父島など30余りの島々からなる小笠原諸島が米国から日本に返還 1968(昭和43)
 - ★汚泥が豪雨で崩壊 新興住宅地裏の谷に捨てられた汚泥が豪雨で崩壊、60人生埋め、24人死亡 神奈川・川崎 1965(昭和40)
- 27日(木)★松本サリン事件 住宅街に撒かれたサリンで7人死亡、200人以上重軽傷 長野・松本 1994(平成6)
- ★山陽新幹線福岡トンネル内でコンクリート塊が落下して列車直撃、屋根を大破 1999(平成11)
 - ★花火工場で爆発、作業員3人死亡、作業場3棟全焼 静岡・浜松 2018(平成30)
- 28日(金)★福井地震(M7.2)、火災で福井市街壊滅状態、死者不明3,769人 1948(昭和23)
- ★農業水利トンネル工事現場でメタンガス爆発、9人死亡、2人負傷 山形・最上川中流 1978(昭和53)
- 29日(土)★十勝岳大噴火 噴煙が上空12,000mに達し広範囲で降灰、鉱山事務所が噴石で破壊され5人死亡、11人負傷 北海道 1962(昭和37)
- ★花火工場が爆発・炎上して7人死亡、3人負傷 愛知・豊橋 1990(平成2)
 - ★西日本を中心とした豪雨災害 死者不明39人、浸水家屋約2万棟、広島県で土石流災害が多発 1999(平成11)
 - ★伊良湖岬沖合で貨物船と自動車運搬船が衝突 貨物船が沈没し燃料油流出、船長ら4人行方不明 愛知・渥美 1999(平成11)
 - ★アスベスト(石綿)被害が報道され、その後被害が拡大深刻化 2005(平成17)
 - ★地熱資源調査エリアで掘削作業中水蒸気噴出 体調不良者続出、敷地内の水から高濃度のヒ素検出 北海道・蘭越 2023(令和5)
- 30日(日)・ハーフタイム・デー 今年も半分経過、前半を振り返り、後半の目標を
- ★セメント工場のサイロ内で石灰石が崩落、3人生埋め死亡 内壁の石灰石除去作業中 新潟・青海 1997(平成9)
 - ★東海道新幹線が走行中に車両火災 男性乗客が油をまき火を付ける 2人死亡、20人以上負傷(うち1人重症) 2015(平成27)

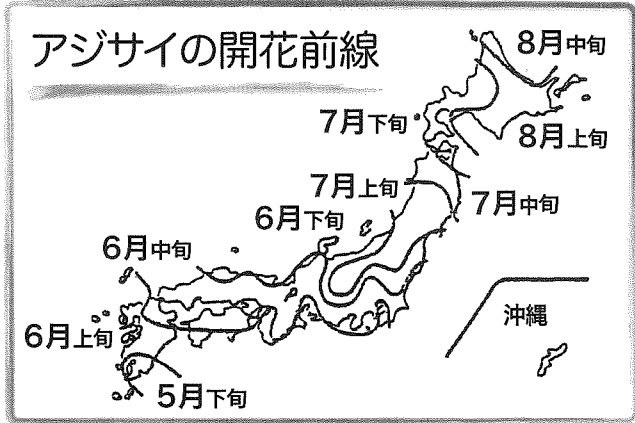
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

6月の安全衛生歳時記

6月の気象と防災管理

	日の出・日の入		気温 (℃)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	3:55	19:16	17.0	72	180.0
青森	4:05	19:10	17.6	78	180.0
岩手 (盛岡)	4:07	19:05	18.8	74	161.3
宮城 (仙台)	4:13	19:02	19.2	79	143.7
秋田	4:11	19:09	19.6	74	179.5
山形	4:15	19:04	20.3	71	165.0
福島	4:16	19:02	20.7	72	141.4
茨城 (水戸)	4:20	18:58	20.3	81	137.8
栃木 (宇都宮)	4:22	19:01	21.2	76	118.5
群馬 (前橋)	4:25	19:03	22.1	70	138.5
埼玉 (熊谷)	4:25	18:59	22.3	73	133.9
千葉 (銚子)	4:23	18:57	20.2	88	142.3
東京	4:25	18:59	21.9	75	124.2
神奈川 (横浜)	4:26	18:58	21.8	78	135.9
新潟	4:21	19:08	20.9	74	179.2
富山	4:32	19:12	21.4	78	154.0
石川 (金沢)	4:34	19:14	21.6	74	162.5
福井	4:38	19:14	22.0	74	146.8
山梨 (甲府)	4:29	19:03	22.3	69	149.9
長野	4:28	19:08	20.4	71	167.4
岐阜	4:37	19:10	23.2	70	160.1
静岡	4:32	19:02	22.4	77	135.9
愛知 (名古屋)	4:37	19:08	23.0	71	151.8
三重 (津)	4:40	19:09	22.7	74	146.9
滋賀 (彦根)	4:42	19:12	21.8	76	154.4
京都	4:42	19:13	23.3	66	133.1
大阪	4:44	19:13	23.6	68	154.3
兵庫 (神戸)	4:46	19:14	23.4	72	164.0
奈良	4:43	19:11	22.2	75	136.6
和歌山	4:47	19:13	23.2	72	157.6
鳥取	4:47	19:20	22.0	74	153.9
島根 (松江)	4:52	19:25	21.7	78	157.1
岡山	4:51	19:19	22.7	71	153.5
広島	4:57	19:24	23.2	71	154.6
山口 (下関)	5:02	19:28	22.5	78	146.6
徳島	4:50	19:15	23.0	75	151.9
香川 (高松)	4:51	19:18	23.3	72	158.2
愛媛 (松山)	4:58	19:21	22.9	73	151.1
高知	4:55	19:18	23.1	78	133.8
福岡	5:08	19:30	23.3	75	145.2
佐賀	5:09	19:30	23.5	74	131.4
長崎	5:12	19:30	23.0	80	125.0
熊本	5:09	19:27	23.7	76	130.8
大分	5:04	19:24	22.6	77	135.7
宮崎	5:08	19:22	23.2	82	119.4
鹿児島	5:12	19:24	24.0	78	109.3
沖縄 (那覇)	5:37	19:23	27.2	83	159.5

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●6月は梅雨(つゆ)入りの季節です。雨や曇りの日が多くなりますが、特に梅雨(ばいご)前線の活発化による大雨や集中豪雨に注意が必要です。職場の安全衛生管理では、降雨や高温・多湿の環境で、機械設備のトラブルや、漏電・感電による事故・災害が起こりがちです。化学物質管理や健康管理にも留意しましょう。

●6月1日から7日までは「土砂災害防止月間」です。1日から30日までは「土砂災害防止月間」です。近年は各地で、がけ崩れ、地滑り、土石流などの大きな被害が発生しています。気象情報や警報・注意報に注意しましょう。

●6月は「STOP! 転倒災害プロジェクト」の「重点取組期間」です。雨で濡れた床での転倒、転落事故につながる高所での転倒など要注意です。転倒危険箇所の改善や、注意表示等「危険の見える化」など転倒防止対策を推進しましょう。

●梅雨の時期は気温・湿度・気圧の激しい変化が起こり、人の体にも様々な影響を及ぼし、頭痛や倦怠感、疲れなどの不調を感じる人が多いようです。また、雨や湿気による精神的な不快感や梅雨による物理的原因でうつ病の条件が揃いやすくなります。適度な運動や、梅雨の晴れ間に陽の光を浴びるなどを心掛けましょう。

6月の安全衛生歳時記

6月1日~30日

「全国安全週間準備期間」

危険に気付くあなたの目

そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全

《準備期間及び継続的に実施する事項》(一部抜粋)

1 安全衛生活動の推進

ア 安全衛生管理体制の確立

- ・安全衛生年間計画の策定、安全衛生規程及び安全作業マニュアルの整備
- ・経営トップによる統括管理、安全管理者等の選任
- ・安全衛生委員会の設置及び労働者の参画を通じた活動の活性化
- ・労働安全衛生マネジメントシステムの導入等によるPDCAサイクルの確立

イ 安全衛生教育計画の樹立と効果的な安全衛生教育の実施等

- ・階層別の安全衛生教育の実施、特に雇入れ時教育の徹底及び未熟練労働者に対する教育の実施
- ・就業制限業務、作業主任者を選任すべき業務での有資格者の充足
- ・災害事例、安全作業マニュアルを活用した教育内容の充実
- ・労働者の安全作業マニュアルの遵守状況の確認

ウ 自主的な安全衛生活動の促進

- ・発生した労働災害の分析及び再発防止対策の徹底
- ・職場巡視、4S活動、KY活動、ヒヤリハット事例の共有等、日常活動の活性化

エ リスクアセスメントの実施

- ・リスクアセスメントによる機械設備等の安全化、作業方法の改善
- ・化学物質のリスクアセスメント及びその結果に基づく措置の推進

2 業種の特性に応じた労働災害防止対策

ア 小売業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業の労働災害防止対策

- ・職場巡視、4S活動、KY活動、ヒヤリハット事例の共有等、活動の充実・活性化
- ・安全衛生担当者の配置、安全衛生教育の実施、安全意識の啓発 他

イ 陸上貨物運送事業における労働災害防止対策

- ・荷台等からの墜落・転落防止対策、保護帽の着用 他

ウ 建設業における労働災害防止計画

- ・足場等からの墜落・転落防止対策、フルハーネス型墜落制止用器具の適切な使用、手すり先行工法の積極的な採用
- ・職長、安全衛生責任者等に対する安全衛生教育の実施 他

エ 製造業における労働災害防止対策

- ・機械の危険部分へ覆いの設置等はさまれ・巻き込まれ等防止対策の実施
- ・機能安全を活用した機械設備安全対策の推進
- ・作業停止権限等を安全担当者に付与する等の安全管理の実施
- ・高経年設備の計画的な更新、点検・補修等の実施 他

オ 林業の労働災害防止対策

- ・チェーンソーを用いた伐木及び造材作業における保護具、保護衣等の着用並びに適切な作業方法の実施 他

3 業種横断的な労働災害防止対策

ア 労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策

- ・作業通路における段差等の解消、通路等の凍結防止措置の推進
- ・照度の確保、手すりや滑り止めの設置
- ・「転倒等リスク評価セルフチェック票」を活用した転倒リスクの可視化 他

イ 高齢労働者、外国人労働者等に対する労働災害防止対策

- ・「高齢労働者の安全と健康確保ガイドライン」に基づく措置
- ・外国人労働者に理解できる方法による安全衛生教育の実施
- ・派遣労働者、関係請負人を含めた安全管理の徹底、活性化 他

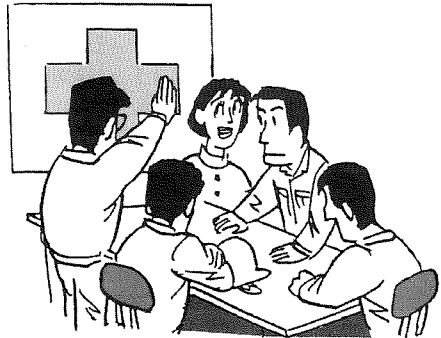
ウ 交通労働災害防止対策

- ・適正な労働時間管理、走行計画の作成等の走行管理の実施 他

エ 熱中症予防対策 (STOP!熱中症クールワークキャンペーン)

- ・暑さ指数(WBGT)の把握とその値に応じた熱中症予防対策の実施 他

(全国安全週間実施要綱の詳細は、厚労省、中災防HPに)



7月1日から7日までは、令和6年度「全国安全週間」ですが、6月1日から30日はその「準備期間」です。

「全国安全週間」は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

令和5年の労働災害については、死亡災害は前年を下回りましたが、休業活動につなげていきましょう。

「実施要綱」に定める左記事項等を参考に実行計画を立て、その後の継続し

7月1日から7日までは、令和6年度「全国安全週間」ですが、6月1日から30日はその「準備期間」です。

「全国安全週間」は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

令和5年の労働災害については、死亡災害は前年を下回りましたが、休業活動につなげていきましょう。

「実施要綱」に定める左記事項等を参考に実行計画を立て、その後の継続し

4日以上の死傷災害は前年を上回っており、近年の増加傾向に歯止めがかからない状況です。

全ての働く人が安全に働くことのできる職場環境を築くため、不断の努力と取組が求められています。

6月の安全衛生歳時記

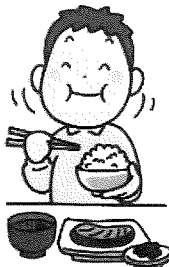
6月4日~10日 歯と口の健康週間

「歯を見せて 笑える今を 未来にも」

歯と口の大切な役割

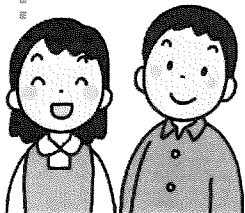
■ 噛む・飲み込む・消化を助ける

食べ物を噛みくだき、唾液と混ぜ合わせる
ことによって、飲み込みやすく、消化しやす
くなります。食べ物をおいしく味わうために、
大事な働きをしています。



■ 表情を作る

表情の豊かさや笑顔には、口元を動かす
筋肉とかみ合わせの発達が大切です。
また、きれいな歯と口からは素敵な笑
顔が生まれます。



■ 発音を助ける

言葉を発するときには、歯を利用し、くち
びるや舌の動きを調和させて発音します。

■ 噛むことで脳を活性化させる

噛むことであごの筋肉を動かすと、血管や神経が刺激さ
れて脳が活性化します。

(8020 推進財団資料より)

「歯を見せて 笑える今を 未来にも」を推進標
語として、6月4日から10日までは「歯と口の健康
週間」です。
(主催 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会ほか)
この週間は、昭和3年に日本歯科医師会が6月
4日を「ムシ歯予防デー」と定めたのが始まりで、
昭和33年に「歯の衛生週間」、平成25年からは「歯
と口の健康週間」と名称を変えて現在に至ってい
ます。

歯と口はたくさんの方の大切な役割を持っています。
体に必要な栄養をとるため、そして毎日楽しく
豊かに生きるためにも、歯と口が健康であること
はとても重要です。

本年度の重点目標は、「生きる力を支える歯科口
腔保健の推進」生涯を通じた8020(はちまるにいま)
運動の新たな展開」です。「8020運動」とは、
「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」とい
う運動です。(詳細は本号P.10参照)

「むし歯」や「歯周病」によって歯を失うと、咀嚼
(そしゃく)能力が落ち、栄養の偏りにより生活習慣病
や、筋力の低下、運動機能の低下につながり、また、
顔の表情や言葉を話す際など、コミュニケーション
の面にも影響を及ぼします。

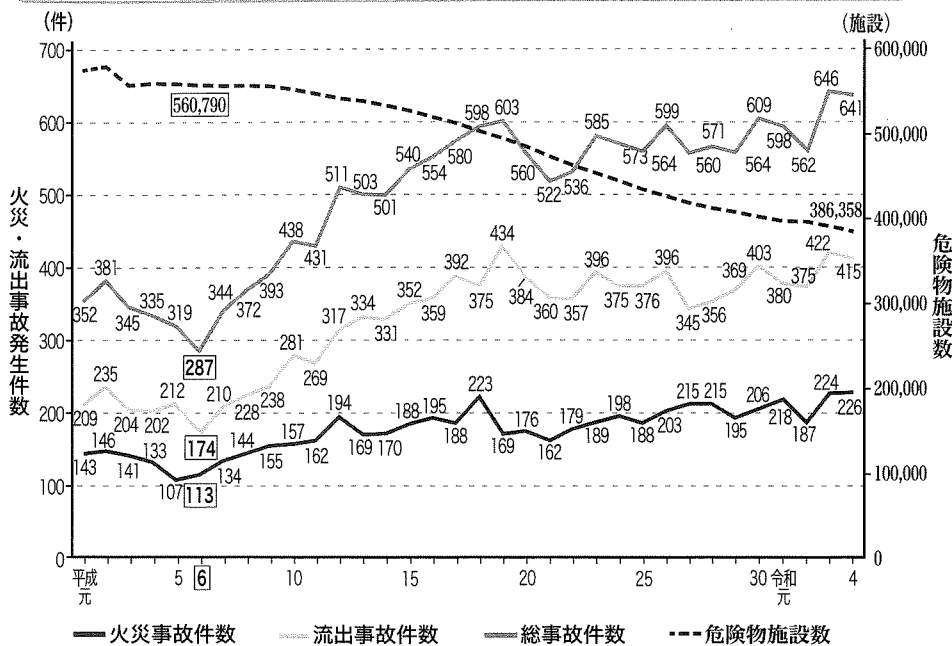
仮に8020を達成できなくても、きちんと噛
む義歯などを入れて、口の中の状態を良好に保つ
ことで、全身の状態も良くなり、日常生活に支障
をきたすことを防げます。

いつまでも楽しく健康に過ごすためにも、毎日
の歯みがきをしっかり行うなど、歯と口の健康に
良い習慣をつけましょう。

6月2日~8日 危険物安全週間

次世代へつなごう無事故と青い地球

危険物施設における火災・流出事故発生件数及び危険物施設数の推移



6月2日から8日までは、令和6年度「危険物安全週間」です。（主催総務省消防庁、都道府県、市町村ほか）石油類を始めとする危険物は、事業所等において幅広く利用されると共に国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。

- 危険物に係る事故件数は、平成6年を境に増加を続け、平成19年以降高止まりの状況にあります。令和4年の総事故件数は641件で、前年より5件減ですが、平成6年の287件と比較すると、危険物施設数が30%以上減少しているにも関わらず、事故件数は約2.2倍となっています。（上表）
- 令和4年の事故の原因をみると、火災事故については、人的要因（維持管理不十分、操作確認不十分、誤操作など）が51.8%と多く、流出事故では物的要因（腐食疲労等劣化、破損など）が55.9%を占めています。
- 消防庁では、「令和6年度危険物等事故防止対策実施要領」（令和6年3月25日付通達）で、次の事項を重点に、保安体制の整備と危険物に関する知識の啓発普及を図り、危険物に係る事故・災害を防止するよう呼びかけています。
- ① 保安教育の充実による人材育成・技術の伝承
 - ② 想定される全てのリスクに対する適時・適切な取組
 - ③ 企業全体の安全確保に向けた体制作り
 - ④ 地震・津波・風水害対策の推進